

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	学校教育部
部(局)長名	羽間 功

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 3	豊かな人間性の育成
--------	-----------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	子どもたちに豊かな人権感覚を身につけさせ、互いに尊重しあえる人間関係を育成します。
---------	---

活動目標
子どもに道徳的な心情や判断力、実践意欲、態度を育てるなど道徳性を養います。
他者を思いやる気持ちを養い、自尊感情を大切に行動できる子どもを育てます。
読書活動支援者を配置し、子どもたちの豊かで幅広い読書活動の充実を図ります。

具体的な取組実績
18中学校ブロック全てにおいて道徳の時間の公開授業ならびに研究協議を行い、小中一貫の視点を持って9年間を見通した中で、子どもたちの道徳性を養うための取組を進めました。
全ての小・中学校に英語指導助手を配置し、外国語活動や英語科の授業を通してコミュニケーション力を高め、自分の文化や異なる文化を理解するための取組を進めました。また3・4年生の児童を対象に「すいたえいこkids2015」を実施し、英語をツールとしてコミュニケーションを図ろうとする意欲の推進を図りました。
36小学校に1校1名、18中学校に2校1名の読書活動支援員を配置し、読書活動の充実を図りました。



達成目標
全ての小・中学校で、「道徳の時間」の公開研究授業を実施します。
英語をツールとして異文化に触れる機会やコミュニケーションを図る機会を増やします。
学校図書館での子ども一人あたりの図書貸出冊数を増やします。

達成状況	達成度
18中学校ブロック全てにおいて公開授業ならびに研究協議を行いました。また、道徳教育をとおして子どもに育みたい道徳性を小・中学校で共有したり、公開授業参観の視点や研究協議における討議の柱を教職員全体で共有したりしながら取組を進めるブロックが増えました。	A 達成
「すいたえいこkids2015」実施後のアンケートでは、英語をツールとしてコミュニケーションを図ろうとする意欲が高まった児童が全体の90%を超えました。 また、16小学校が教育課程特例校の指定を受け、小学校1年生から外国語活動を実施し、英語をツールとして異文化に触れる機会やコミュニケーションを図る機会を増やしました。	A 達成
平成26年度貸出実績は529,683冊でしたが、平成27年度の貸出においては592,633冊と小・中学校合わせて62,950冊の増加となりました。	A 達成

## 平成27年度部長マニフェスト取組結果

### 総合評価・総括

道徳教育では、すべての中学校ブロックでの公開授業が定着し、小中を見通した指導観の共有化とともに、児童・生徒の道徳性を養うことができました。また、小学校1年生からの英語活動の実施校を拡充するとともに、「すいたえいごkids」を昨年度に引き続き開催し、コミュニケーション力の育成を主眼とする本市の英語教育の充実を図ることができました。

引き続き、人権感覚に優れた「豊かな人間性」とコミュニケーション力の充実をめざし取組を進めていきます。